

# 2024年度 進級再試験 学生周知項目

| 科目          | 試験時間 | 参照可否         | 出題範囲または学生への伝達事項  |
|-------------|------|--------------|--|
| 英語①<br>(※1) | 70分  | 不可           | 必修英語科目履修に相当するレベルの、総合的な英語力をみる筆記試験。ただし、リスニング、スピーキングは含みません。   |
| 英語②<br>(※1) | 60分  | 不可           | 高校卒業レベルの英文読解、文法理解、英作文能力をみる。  |
| ドイツ語        | 60分  | ※右記を参照       | ・1年次必修科目(ドイツ語1-II)の再試験には、筆記用具以外のもの(辞書・参考書・ノート等)の持ち込み不可。受講していたドイツ語科目の学習事項をしっかりと勉強してください。<br>・2年次必修科目(ドイツ語3 I・3 II・4 II)の再試験には、筆記用具以外に、独和辞書のみ持ち込み可(電子辞書でも構いませんが、外部と通信可能なもの、スマートフォンのアプリは認めません)。<br>1年次～2年次に受講していたドイツ語科目の学習事項全般をしっかりと勉強してください。   |
| フランス語       | 60分  | 不可           | (ア)【出題のレベルと形式】いわゆるヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルからA2レベルに相当する語彙(ごい)と文法にかかわる問題を出题します。フランス語の基礎的な運用能力をどの程度お持ちか見極める目的で、複数の選択肢から正解を選ぶ問題や、単語を並べかえて文を作る問題、指示にしたがって文を書きかえる問題等を出题いたします。<br><br>(イ)【重点的に復習をお願いしたいフランス語文法の単元】<br>部分冠詞のつづり字と使い方、都市名・国名・大陸名の前に置かれる前置詞(à, au, en, aux)の使い方。<br>男性名詞と女性名詞の区別、名詞の単数形と複数形の区別およびそのつづり字、形容詞の単数男性形・単数女性形・複数男性形・複数女性形の区別およびそのつづり字、補語人称代名詞(«me»/«m'», «te»/«t'», «nous», «vous», «le»/«l'», «la»/«l'», «les», «lui», «leur»)の使い方、特に平叙文と否定文におけるその位置、人称代名詞の強勢形(«moi», «toi», «lui», «elle», «nous», «vous», «eux», «elles»)とその使い方、指示形容詞(«ce», «cet», «cette», «ces»)の使い方。<br>«ne...pas»を用いた否定文の作り方、命令法(否定形を含む)の使い方、必要性や義務を表す非人称構文«il faut ~.»の使い方。<br>主語・述語の倒置を伴わないイントネーションを用いた疑問文や、主語・述語の倒置を伴う疑問文、そして«Est-ce que...»を用いた疑問文の作り方。「Qui», «Quoi», «Qu'est-ce que»のような疑問代名詞を用いた疑問文の作り方、「quel», «quelle», «quels», «quelles»のような疑問形容詞を用いた疑問文の作り方、「comment», «où», «pourquoi», «quand», «combien»のような疑問副詞を用いた疑問文の作り方。代名詞«il»を用いた非人称構文(「～がある」を表す«Il y a ~.», 時刻を表す«Il est ~.», 天候を表す«Il fait ~.», «Il pleut.», «Il neige.»)の使い方。<br>動詞«avoir», 動詞«être», 動詞«aimer», 動詞«adorer», 動詞«détester», 動詞«acheter», 動詞«penser», 動詞«travailler», 動詞«écouter», 動詞«habiter», 動詞«rester», 動詞«aller», 動詞«finir», 動詞«partir», 動詞«venir», 動詞«revenir», 動詞«dormir», 動詞«faire», 動詞«lire», 動詞«écrire», 動詞«dire», 動詞«mettre», 動詞«prendre», 動詞«apprendre», 動詞«attendre», 動詞«savoir», 動詞«connaître», 動詞«devoir», 動詞«pouvoir», 動詞«vouloir»の直説法現在の活用と基本的な意味とつづり字と発音。<br>代名動詞«s'amuser», 代名動詞«se réveiller», 代名動詞«se lever», 代名動詞«s'appeler», 代名動詞«s'habiller», 代名動詞«se coucher», 代名動詞«s'intéresser», 代名動詞«se promener», 代名動詞«se laver», 代名動詞«se dépêcher», 代名動詞«se reposer»の直説法現在の活用と基本的な意味とつづり字と発音。<br>近接未来(«aller»+不定詞)や近接過去(«venir de»+不定詞)の活用とそのつづり字。 |
| ロシア語        | 60分  | 不可           | 出題範囲：教科書「初級ロシア語」全範囲<br>伝達事項：文法事項、テキストの内容をよく確認しておくこと。   |
| 中国語         | 60分  | 不可           | 共通テキスト『ポイント学習中国語初級』から出題するのでしっかりと復習しておくこと。  |
| スペイン語       | 60分  | 不可           | (1) 1年次(春学期)科目の出題範囲は、動詞現在形の規則活用と不規則活用、指示形容詞、疑問詞、天候表現、時刻表現が中心となる。<br>出題形式は、動詞の正しい活用形を問うものと和訳を求めるものが中心となる。<br>(2) 1年次(秋学期)科目の出題範囲は、1年次(春学期)科目の出題範囲に加えて、感嘆文、直接・間接目的格人称代名詞、再帰動詞、現在完了形、動詞の点過去の規則活用と不規則活用が中心となる。出題形式は、動詞の正しい活用形を問うものと和訳を求めるものが中心となる。<br>(3) 2年次(春・秋学期)科目の出題範囲は、1年次(春・秋学期)科目の出題範囲に加えて、動詞の線過去の規則活用と不規則活用が中心となる。<br>出題形式は、動詞の正しい活用形を問うものと和訳を求めるものが中心となる。  |
| 朝鮮語         | 100分 | 不可           | <1年生春学期><br>試験範囲：『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』第1課～第22課(p.120「作文練習」を含む)<br>・文法は、学んだものすべて<br>・単語は、各課の「練習」「本文(灰色地の箇所)」「作文練習」にあらわれるもの(外来語と漢字語のコラムの単語も上記のどこかの箇所にあらわれるものは範囲に含める)<br><br><1年生秋学期><br>試験範囲：『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』第23課～第35課(作文練習含む)<br>・作文(日本語から朝鮮語へ)40題を出題します。文の大部分はオリジナル、文体はすべてヘヨ体。<br>・単語と文法は、各課の練習、本文スキット、作文練習にあらわれるものが範囲。ただし色をあらわす形容詞5つ(p.150)は除外。<br><br><2年生春学期><br>履修した科目における2024年度春学期期末試験の範囲と形式に準拠する。<br><br><2年生秋学期><br>履修した科目における2024年度秋学期期末試験の範囲と形式に準拠する。<br><br><受験方式><br>・「朝鮮語1, 2春学期」の両者を受験する学生：1つの問題で2科目共通の評価とする。<br>・「朝鮮語1, 2秋学期」の両者を受験する学生：1つの問題で2科目共通の評価とする。<br>・「朝鮮語3, 4春学期」の両者を受験する学生：1つの問題で2科目共通の評価とする。<br>・「朝鮮語3, 4秋学期」の両者を受験する学生：1つの問題で2科目共通の評価とする。<br>★ただし、1年次、2年次とも、春学期と秋学期の両者を受験する学生は、2つの問題を受験し、総合点で評価をする   |
| 日本語         | 100分 | 不可(PC内は参照自由) | ・Googleクラスルームを利用し、進級再試験を行うため、PC・タブレット・スマートフォン等の端末を持参すること。<br>・GoogleクラスルームのログインURLは、対象者確定後、試験開始までに、Web掲示板を通じて周知する予定。   |

※1 「英語①」及び「英語②」の対象者はWeb掲示板「3. 「英語①」・「英語②」受験者一覧」を確認すること。